

AEDIO EVR-3 電子ボリューム・フラットアンプ

アンバランス・ステレオ

EVR-3-01 (MUSES01 使用)

定価 21,000 円

EVR-3-02 (MUSES02 使用)

定価 21,000 円

バランス・ステレオ/4チャンネル

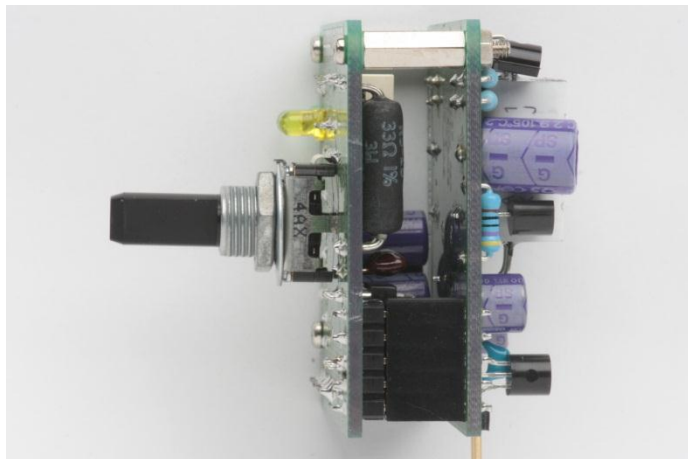
EVR-3B-01 (MUSES01 使用)

定価 42,000 円

EVR-3B-02 (MUSES02 使用)

定価 42,000 円

ボリュームは、オーディオアンプにはなくてはならないデバイスです。しかし、音質面では問題の多いデバイスでした。ボリュームでは、抵抗体表面を機械的接点が接触しながら移動するため、良好な音質と高い信頼性を両立させることは困難です。加えて抵抗体表面への高い接触圧を得られないため、音に起因する振動も音質を悪化させていました。このためオーディオ・マニアの間では高音質ロータリ・スイッチを使用したステップ式アッテネータが標準とされています。しかし高音質ロータリ・スイッチは高価であり、だれでも手軽に使用することはできません。



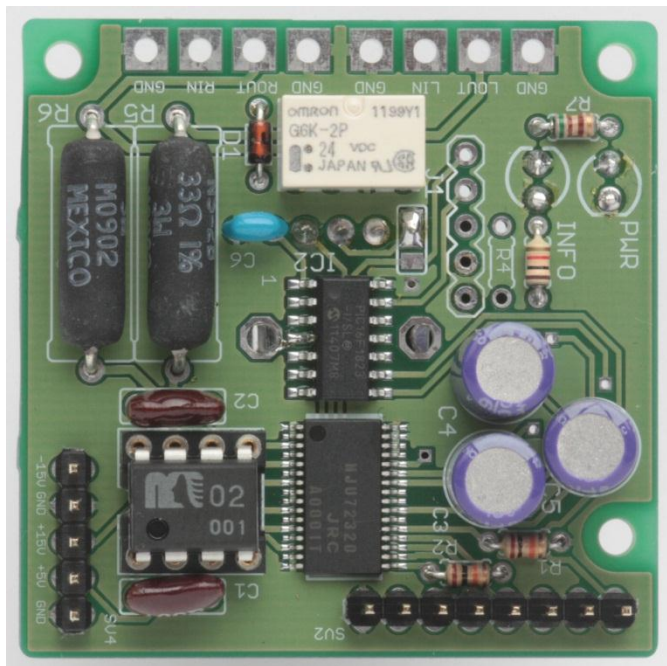
EVR-3-01 アンバランス・ステレオ仕様。45×45×46 のコンパクトなボディにすべてを集約。9 mm 穴に取り付け可能。6mm 軸 (Dカット) 採用。

AEDIO EVR-3 は、問題の多い機械的接点をなくし、画期的な高クオリティ音を再生する全く新しい電子ボリュームです。

一般的な電子ボリュームでは、コストが優先され、数字上のひずみ率だけが追求されていました。このため聴感上は機械的接点よりもひずみ感の大きな、ダイナミックレンジの狭い音となっていました。

これに対して AEDIO EVR-3 では、徹底的に試聴を繰り返し、数字を追求するのではなく音質を追求しました。AEDIO EVR-3 の心臓部となるアッテネータには新日本無線(株)MUSES72320 を、オペアンプには MUSES01 / 02 を採用しました。

MUSES シリーズは、徹底的な共通インピーダンスの排除によってクオリティ向上が計られた IC です。内部アーキテクチャ、製造法、リードフレームから IC チップまでのボンディングワイヤ、パッケージ材質など、すべてが試聴によって厳選されたデバイスです。



EVR-3-02 は MUSES02 オペアンプを使用。クリアーでしなやかなサウンドが特徴。入出力は基板上にポッドとしてパターンを構成。アンバランス・ステレオ入出力 (L/R 各 1 系統)。

AEDIO EVR-3 は、音質に影響を及ぼすパーツを厳選し、電源回路を最適化するとともに最適なプリントパターンを求めて試作を繰り返しました。

その結果、最高級ボリュームを超えない価格で、高音質ロータリ・スイッチと高音質抵抗器を組み合わせたステップ式アッテネータをも超えるサウンドクオリティを実現しました。

AEDIO EVR-3 はボリュームですが、単なるボリュームではありません。+ 8 dB までのゲインを得ることもできます。ボリュームを超えるフラットアンプとしての機能も有しています。ボリュームを内蔵したラインアンプを凌駕するクオリティを手軽に得ることができます。

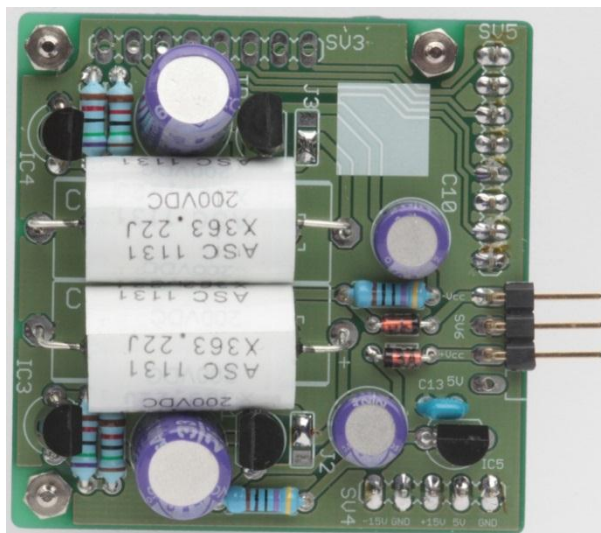


超高音質電子ボリューム IC
新日本無線(株)MUSES72320 採用

電子ボリューム IC をコントロールするためにはマイクロコントローラが必要です。しかしコントローラのクロックに起因する高周波ノイズは、再生音のクオリティを劣化させる要因となります。

AEDIO EVR-3 では、音量調節操作時のみコントローラを動作させ、音量設定後、速やかにコントローラを停止します。これにより高周波ノイズの低減にも成功しました。

さらにコントローラは、パワーOFF 時のボリュームポジションを記憶し、パワーON と同時にポジションを設定します。-60 dB まで 2 dB ステップで設定できるなど、使いやすさも追求しました。



電源電圧±16~23 VおよびGNDを供給するだけで、電子ボリュームとして使用できます。

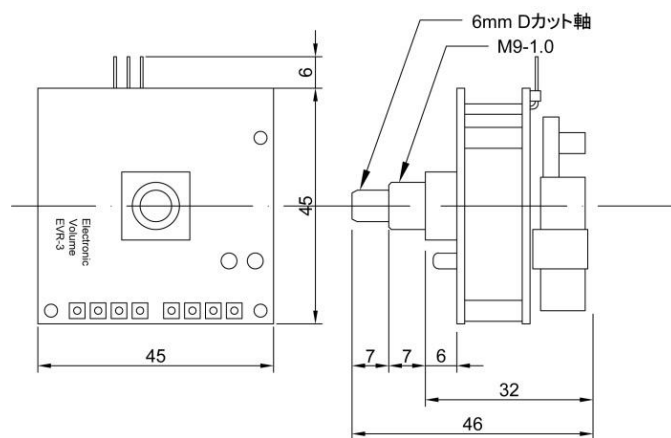
俗に、アンプの音の半分は電源が決めると言われます。しかし、これは真実です。AEDIO EVR-3 は電源をも含めたトータルクオリティを実現するため、専用電源基板と一体化されています。新開発のシャント・シリーズ・レギュレータ回路によって、±16~23 V の電源を用意するだけで、最高のクオリティを得ることができます。

AEDIO EVR-3 には、低音楽器の質感をグリアに再生する MUSES01 を使用した 01 と、弦楽器のしなやかで優しい音色を余すところなく聴かせてくれる MUSES02 を使用した 02 の 2 タイプを用意しました。どちらも従来のボリュームとは次元の異なる高いクオリティ音を再生します。

また、赤外線リモコンユニット(近日発売予定)を追加することで、自作派には不可能であったリモコン音量調整も手軽に実現できます。

特徴

- 45×45×46 mm (EVR-3. 接続ピンを含まず) サイズにコントロール回路、安定化電源を内蔵
- φ9 mm 穴に取り付け可能
- 外部電源を用意するだけで機械式ボリュームと置き換え可能
- 使用電源電圧範囲±16~23 V、±30 mA 以下 (無信号時)
- あらゆる機器に対応できる 20 kΩ 入力インピーダンス
- 600Ω 負荷を 8 Vrms ドライブできる強力な出力段 (02 タイプ)
- 使いやすい 2 dB ステップ
- 音量調節範囲：-∞、-60 ~+8 dB (2 dB ステップ)
- パワーオフ時のボリュームポジションを記憶
- 操作時以外はコントローラを停止することにより高周波ノイズを低減
- チャンネル間ゲイン差±0.5dB 以下
- チャンネルセパレーション 90dB 以上
- DALE NS-2B 無誘導巻線抵抗、ASC X363 メタライズド・ポリプロピレン・コンデンサなど高音質パーツを厳選
- 赤外線リモコンユニット、レベル表示ユニット(近日発売予定) 拡張可能



(製品の仕様、外観等は予告なく変更することがあります)

製造・発売元

有限会社イーディオ

〒162-0852 東京都新宿区南横町 46 モンポルト一階

TEL 03-3266-1071 FAX 03-3266-1072

Email: info@aedio.co.jp

http://www.aedio.co.jp/